

私たちの窓は、いつもみなさまに開かれています

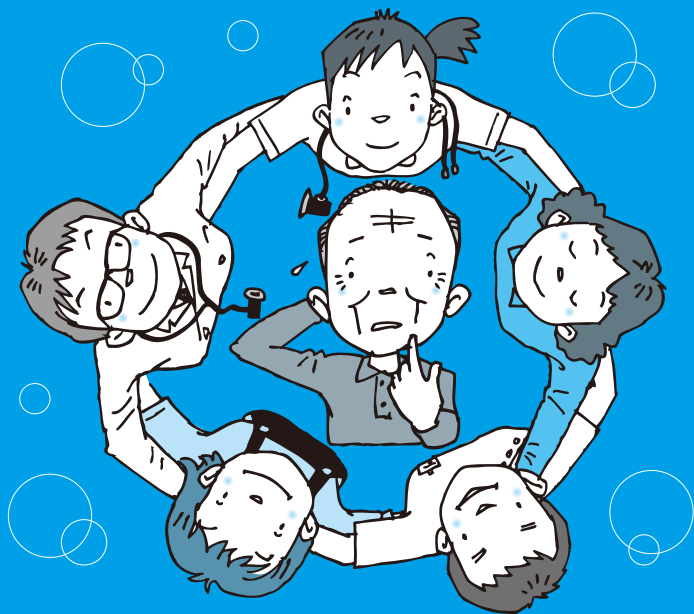
2015年6月1日発行
NO.420

白 い ま ど

JUNE

6

特集 もの忘れだけじゃない! 認知症を知ろう P-1



- インフォメーション P-4
- 診療科・センター紹介 精神科 P-5
- 診療を支えるスペシャリスト 臨床心理士 P-6

病院理念

私たちは利用してくださる方ひとりひとりのために最善を尽くすことに誇りをもつ



社会福祉法人聖隷福祉事業団

総合病院 聖隷浜松病院

もの忘れだけじゃない!

認知症を知ろう

認知症とは

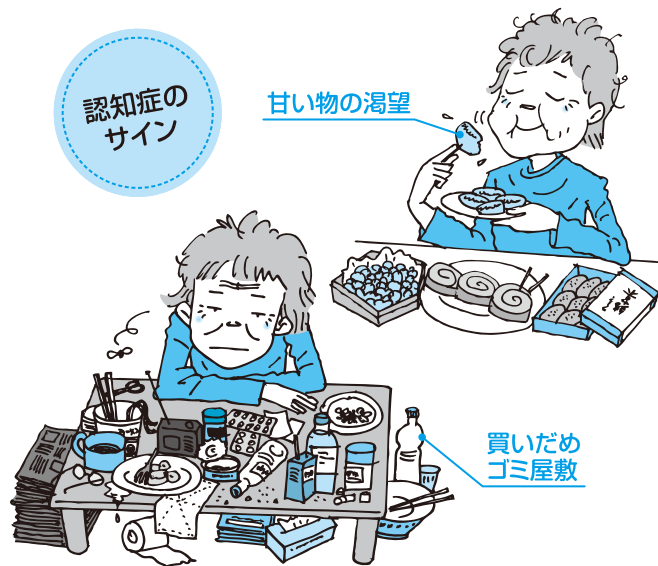
認知 知症というと、“もの忘れ”が代名詞のように思われていますが、実は、もの忘れが目立たない認知症もあります。つまり、認知症は“もの忘れだけじゃない”ということも大切で、さまざまな暮らしの困りごとや不便を抱えるようになる生活障害と言えます。

認知症のサイン

た とえば、不衛生で身だしなみを整えないマナーの欠如、買いだめやゴミ屋敷、甘い物の渴望など食事習慣の変化も認知症のサインの可能性がります。また、家族を目の前にして「あなたは私の子供ではない」と言われると、“もの忘れ”が原因で家族の顔も忘れてしまった思いがちですが、「家族誤認」という視覚に関わる認知が低下している場合もあります。記憶に関わる“もの忘れ”に加え、知覚や言語、社会にまつわる

認知症のサイン

甘い物の渴望

買いだめ
ゴミ屋敷

認知機能のサインにも気づくことで、今の生活をより暮らしやすくしていきましょう。

先 に述べた「家族誤認」を呈した認知症患者さんから教わることで、注意叱責する家族は、患者さんにとって別人になり易いということがあります。おそらく、今まで優しかった家族の態度や表情の変化は、認知症患者さんにとっては辛く耐え難いものであり、家族が病前までと同様の関係性を保つケアを実践することで、暮らしにくさの改善が期待できます。また、脱水や便秘などの身体の不調も認知機能には影響し、転倒や立ちくらみにも注意が必要です。

自分らしく 暮らし続けるために

高 齢化の進展に対しては新オレンジプラン※があり、認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で、自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目標に掲げています。当院も県西部の神経内科医師とともに、Care-Nursing-Treatment プログレスを立ち上げ、高齢社会生活に関わる多職種との顔の見える地域介護の交流を通し、認知症患者さんやその家族の視点を重視した診療を常に目指しています。

※新オレンジプラン…2015年1月に政府が決定した、認知症の国家戦略



Care-Nursing-Treatment プログレスの様子

文責：神経内科 内山 剛

インフォメーション

Q 「紹介状を持って受診してください」と言われたけど、紹介状ってどんな意味があるの？

A 紹介状があることでスムーズに受診していただくことが可能となります。

解 説

紹介状には診療所やクリニックで受診した時の患者さんの症状や検査の結果、経過報告等が記入されています。

紹介状によって、医師が事前に患者さんの受診内容を把握することが可能となります。診療所やクリニックでどのような検査を行い、お薬を処方してもらっていたかなどの情報を得ることで、当院受診時にはどのような検査や治療が必要になるのだろうか、予測をたてながら診察にのぞむことが可能となります。診察時にこのようなことをひとつひとつおうかがいすると、診察に多くの時間を要することになり、待ち時間の増加へとつながってしまいます。また、検査によっては重複する検査を実施されることを防ぐことにも役立ちます（検査内容によっては重複して行う検査もあります）。

文責：地域医療連絡室 小林 秀行

新任
医師紹介



眼科

たなべ ひろたか
田邊 裕貴

名古屋大学（2006年卒）



精神科

当院における
心理的ケアの
レベルアップを
目指して

総合病院精神科で
ある当科は、精神病
レベルの疾患比率が

多い精神科病院（いわゆる単科精神病院）とは異なり、
神経症レベルの疾患が全体の半数近くを占めており、
当院の身体科に通院あるいは入院している患者さんの
精神面のフォローを、臨床心理士と共にしています。

不眠、せん妄はもちろんのこと、周産期における産後
うつ病をはじめとする精神疾患の治療、乳幼児虐待防止
の取り組み、そして、緩和ケアチームのメンバーとしての
役割など、身体科と連携しながら、コンサルテーション・
リエゾン精神医療に取り組んでいます。

その一方で、たとえ精神科医師や臨床心理士が直接
関わらなくても、身体科スタッフが心理的な視点を持つ
ことができれば、患者さんひとりひとりが抱えている
苦悩について一緒に考えていくことができるはずです。

このような観点から、当院全体の心理的ケアのレベル
アップに貢献することが、私たち精神科の大きな使命で
あると考えています。

文責：精神科 堀 雅博

診療を支える
スペシャリスト

臨床心理士

心の悩み、どんなことでも
ご相談ください



臨床心理室では、**心理検査**と**心理療法**を行っています。**心理検査**は各診療科から紹介を受け、発達検査、知能検査、性格検査などの各種検査※を行っています。**心理療法**は精神科を受診されている方を対象に、職場や家庭の人間関係やストレス、不登校やいじめなど学校での問題、ご自分の性格をめぐる問題など、様々な心の悩みについてのご相談をお受けしています。心の悩みの解決に向けて、臨床心理士が心の整理をお手伝いします。

※各種検査

発達検査

乳幼児や小児の発達水準を調べる検査

知能検査

IQと呼ばれる知的な機能を測る検査

性格検査

考え方や物事の感じ方の特徴などを見る検査



心理検査の様子



心理療法の様子

文責：臨床心理士 小川 美帆



聖隷浜松病院からのお知らせ

初診の方へ 紹介状をお持ちください

紹介状及び予約が必要な診療科(紹介予約制)がありますので、事前にご確認ください。なお、当院を受診される際に、他の医療機関からの紹介状をお持ちでない場合は、初診時選定療養費として3,240円を別途ご負担いただいています。

当院は、地域医療支援病院として急性期医療を担い、「かかりつけ医(診療所等)」と役割を分担する病診連携を推進しています。皆様のご理解ご協力をお願いいたします。

また予約時には、症状や診療科の確認等が必要となることがあります。原則としてかかりつけ医からご予約をお取りいただくようお願いいたします。

やむを得ず患者さんから予約する場合は診療科・担当医をご確認のうえ、下記までご連絡ください。

▶ 地域医療連絡室(JUNC) ☎053-474-8801

(月～金曜 9:00～17:00・土曜 9:00～12:00/祝祭日を除く)

再診の方へ 予約変更のご案内

予約変更は、適切な診療提供に支障をきたすおそれがありますのでお控えください。やむを得ず予約変更を希望する場合のみ、下記までご連絡をお願いいたします。

- お手元に診察券・予約券等をご準備ください。
- 時間帯によってはお電話がつながりにくい場合があります。
- 変更の際は医師等に確認が必要なため、お時間や日数がかかります。

▶ 外来受付センター ☎053-474-0100 (月～金曜13:00～16:45)

面会の方へ

面会時間…(月～土曜)14:00～20:00、(日曜・祝日)10:00～20:00

- 産科・小児科病棟の面会者はC棟1階で手続きをお願いいたします。
- 院内感染予防の目的で、以下の症状がある方には、面会をご遠慮いただいています。
発熱/咳/痰/原因不明の発疹/嘔吐/下痢



ジョイント・コミッション・インターナショナル認証
日本医療機能評価機構認定
地域医療支援病院



社会福祉法人聖隷福祉事業団

総合病院 聖隷浜松病院

〒430-8558 浜松市中区住吉2-12-12 ☎053-474-2222

発行責任者 病院長 鳥居 裕一